

はじめに

このたび、私たち羽曳野市民活動推進検討会議では、市民活動の推進のあり方や市民活動と行政の協働をすすめる環境づくりに対する提言をおこないました。この会議は、公募によって集まった市民と学識経験者の27名が羽曳野市の委嘱を受け、平成15年3月に設置されました。

平成15年12月には『中間提言』を作成し、引き続き具体的な方策などについて検討を続け、このたび、最終の提言をおこないました。提言は、大きく4部構成で、内容は以下のようになっています。

まず、「序」では、私たちのこの会議に寄せる思いや考えの枠組みをまとめています。私たちがなにを提言したかったのかがよく現れています。続いて、第1部では、なぜいま羽曳野市で市民活動を推進しなければならないのか、そして市民活動と行政の協働とはどういうことなのかについてまとめるとともに、私たちが考える「羽曳野市のめざされる姿」をまとめました。次に、第2部では、さまざまな市民と行政の協働の形態をわかりやすいように福祉・教育・環境・NPOという4つのテーマを取り上げています。それぞれのテーマは、現状と問題点・めざされる姿という2つの項目に分けています。そして、第3部では、以上の議論をもとに、市民活動を推進する環境づくりと、それに基づいた市民と行政の協働をすすめるための具体的な方策についてまとめています。

この会議は、まさに市民の手によるものです。提言の構成や内容にいたるまで、すべて私たちが、考え、作成してきたものです。私たちの提言が市政に活かされていくことを心から願っています。

平成16年4月18日

羽曳野市民活動推進検討会議